



誠信交隣 21

縁地連だより

No.20

ユネスコ記憶遺産登録に向けて!



パリでのセミナー終了後の記念写真



福善寺に展示された通信使人形



福山大会 正使を迎え入れる福山市長

NPO法人 朝鮮通信使縁地連絡協議会

目 次

- はじめに NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長・・・1

< 縁地連の活動 >

- 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録推進状況

朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会事務局・・・3

< 各地域の活動 >

- 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流福山大会

～日東第一形勝の舞台からユネスコ記憶遺産へ～ 広島県 福山市・・・11

- 10年目の朝鮮通信使友情ウォーク

21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会・・・16

- 双方向の異文化理解を目指して ―高校生交流を支える―

長浜市 芳洲会・・・19

- 海峡に育まれた歴史と文化のまち下関

山口県 下関市・・・21

- 人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内 岡山県 瀬戸内市・・・23

- 相島歴史の会（福岡県新宮町） 相島歴史の会・・・24

- 2017 朝鮮通信使祭りのご案内

釜山広城市 財団法人釜山文化財団・・・27

- 編集後記 NPO縁地連事務局・・・28

- 会員名簿・・・30

はじめに

花便りが伝わる今日この頃となりました。NPO縁地連会員の皆様には、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、3年間取り組んで来ました朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録推進事業も最終年を迎え、今年は広報活動に力を入れ、京都、パリ、東京でセミナーを開催しました。内容は本文中で詳しく報告されると思いますが、パライベントの最終日、ユネスコ本部を訪問しました。



ユネスコ本部前にて。

記憶遺産担当の事務局長パネフスカ氏および審議員のラ・リュウ氏と面会でき、いろいろと意見交換をしました。その中で「非常に良いプログラムである」と高い評価をいただきました。この言葉で、登録の可能性が非常に高いのではないかとひとまず胸をなで下ろしているところでございます。

決定されるであろう9月が待ち遠しくて仕方がないところでございます。

しかしながら、記憶遺産登録がゴールではございません。登録されてからが、これまで以上に大変になってきます。登録された資料の保存管理、公開、デジタルアーカイブの構築などやらなくてはいけない事柄がたくさんあります。当然お金もかかることとなります。今後は、ユネスコ記憶遺産連絡部会（仮称）の設立を計画しており、各関係機関と連携を密にして、事業を推進していきたいと考えております。（ユネスコ記憶遺産日本推進部会は同時期に解散予定です。）

2016年度の全国交流会は福山市鞆の浦で開催されました。これは福山市市政施行100周年を記念して行われ、ちょうど前回から20年ぶりの福山大会となりました。大会の前日である金曜日には、福禅寺対潮楼においてユネスコ記憶遺産登録事業を盛り上げるためのイベントが企画され、日東第一形勝の眺望を眺めながら、枝廣福山市長及び新しく就任された釜山文化財団の柳鍾穆（ユ・ジョンモク）代表理事とともに登録祈願として「誠信」の文字をしたためました。

大会初日は、通信使一行を乗せた通信使船の装飾をした船が、常夜灯のある雁木に着き、出迎え式が行われました。通常は行列の再現がメインとなりますが、通信使船を再現するのは、鞆の浦ならではとすることができるとでしょう。三重県津市分部町の唐人踊が花を添えていました。（唐人踊保存会の宮田完時副会長には久しぶりにお会いすることができました。）

翌日には、新しくできた鞆公民館で交流会が催され、特に琴とカヤグムの演奏があり、その音の調和が耳から離れませんでした。その他にもいろいろと趣向が凝らされ、素晴らしい交流会でした。



対潮楼にて枝廣市長、柳鍾穆代表理事と歓談している様子

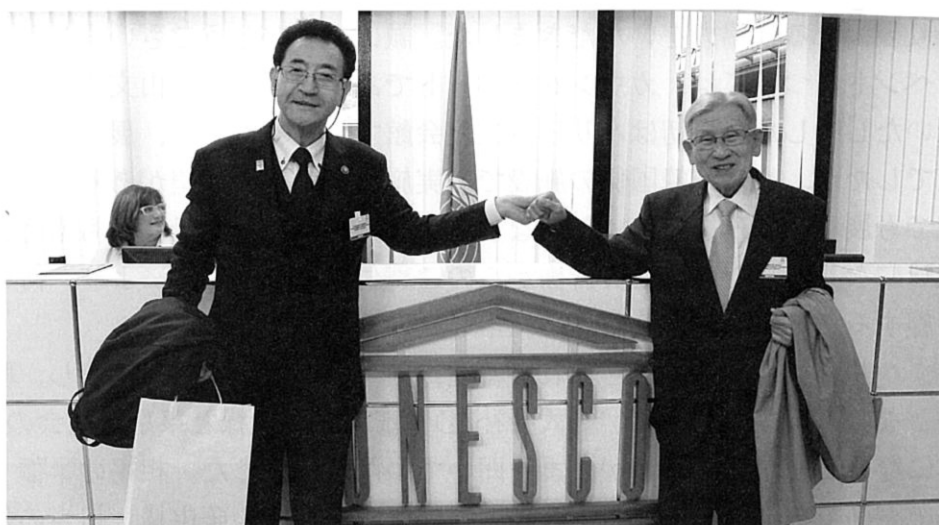
2017年度の大会は1617年の第2回使行京都易地聘礼から400年ということで、京都で行われます。秋の紅葉の美しい時期に京都で行われる大会なので非常に楽しみなところです。しかし、人気の時期なのでホテルの予約が困難です。早めの予約をお勧めします。

また、2018年には上関町が満を持して大会誘致を決定されました。同町では昨年からの通信使イベントが開催されており、町内の通信使ブームの起爆剤になればと期待しております。

それでは、秋に京都でお会いしましょう。

2017年3月

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
理事長 松原 一 征



姜南周朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産韓国学術委員階委員長とユネスコ本部内にて

朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録推進状況 ～ 広報事業報告 ～

報告：朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産
日本推進部会 事務局



ユネスコ本部前にて

朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会は、今年で3年目となり、最後の年となりました。各自治体からの記憶遺産推進事業助成金も今年で打ち切りとなります。昨年度末の3月30日に申請書をユネスコに提出したことで、事業としては一区切りついていましたので、2016年度は、国民的盛り上がりを広めるために広報活動の年と位置づけ、京都、パリ、東京でセミナー等広報事業を計画いたしました。

京都セミナーについては民団京都地方本部様、東京セミナーについては早稲田大学より多大なるご協力をいただきました。誠にありがとうございました。また、パリイベントについては、カウンターパートである財団法人釜山文化財団と共同で開催いたしました。当初はパリ日本文化会館でのみセミナー、展示会を開催する予定でしたが、やはり韓国側の施設でも実施したいとの要望があり、パリ韓国文化院でも展示会のみを行うことになりました。これにより予算額も増え、少し不足気味になりましたが、会員皆様からのご寄付（P10参照）により、何とか事業を実施することができました。御礼申し上げます。

また、パリで行うイベントとなれば普通、大手の広告代理店に依頼し、膨大な予算額となるものなのですが、株式会社LD（東京）の仕様と東京対馬会の折にお近づきになることができ、わがままを聞いていただきました。相場の半額ぐらいの予算で実施できたのではないかと思います。社長の藤中様、担当の韓様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

1 朝鮮通信使セミナー in 京都

◆日時：平成28年10月2日（日）

◆場所：京都市国際交流会館 1階ホール

◆内容：朝鮮通信使セミナー

○講演

講師：韓泰文先生（韓国学術委員会委員 釜山大学校教授）

演題：朝鮮通信使関連記録物のユネスコ世界記録遺産登録申請の意義

○ユネスコ記憶遺産登録推進事業報告

報告者：縁地連事務局長 阿比留正臣

○受講者：約50名



◆状況写真



韓泰文先生講演の様子



韓泰文先生講演の様子



縁地連臨時総会の様子



通信使人形をロビーに展示

この日は、NPO 縁地連の臨時総会を開催し、通常の予算・決算、事業実績報告・事業計画が審議され、原案のとおり可決されています。

その他、エントランスでの通信使人形の展示、写真パネル展示会を実施しました。また、2年目になる京都コリアフェスタにおける通信使行列再現の国書交換式も同会場で開催され、来年度に予定されている京都大会のプレイベント的に盛会に終了いたしました。



国書交換式の様子

2 パリ広報事業

◆日 程

・平成28年11月14日(月)

10:00～14:00 パリ日本文化会館での展示作業

(11:00～11:30 パリ日本文化会館 館長 杉浦勉氏へご挨拶)

17:30～19:30 パリ韓国文化院での展示会オープニングレセプション参加
(約60名) (14日～30日)

・平成28年11月15日(火)

10:00～ 日本文化会館での展示開始 (15日～18日)

10:00～12:00 パリ日本文化会館でセミナー等の準備

14:30～17:00 朝鮮通信使セミナー開催 (約60名)

17:00～18:30 レセプション開催 (約50名)

・平成28年11月16日(水)

13:45～14:30 ユネスコ本部訪問・推薦状提出

15:00～15:40 ユネスコ韓国政府代表部表敬訪問

16:00～16:40 ユネスコ日本政府代表部表敬訪問

◆場 所

・日本側：パリ日本文化会館

・韓国側：パリ韓国文化院

◆参加者 全21名 (日本15名・韓国6名)

<日本側>

No	所属	役職	氏名
1	対馬市	市長	比田勝 尚喜
2	対馬市	課長	阿比留 忠明
3	下関市	副市長	坂本 康一
4	下関市	主任主事	藤崎 加奈子
5	瀬戸内市	市長	武久 顕也
6	瀬戸内市	課長	片山 洋一
7	名古屋市	室長代理	杉山 裕一
8	名古屋市	個人会員	桜井 信寿
9	静岡市	副市長	小長谷 重之
10	静岡市	主査	小笠原 拓磨
11	静岡市	副主幹	齋藤 利光
12	長崎県	主任主査	加藤 敬久
13	日本学術委員会	委員	倉地 克直
14	NPO縁地連	理事長	松原 一征
15	NPO縁地連	事務局長	阿比留 正臣

<韓国側>

No	所属	役職	氏名
1	韓国推進委員会	共同委員長	張濟國
2	韓国学術委員会	委員長	姜南周
3	韓国学術委員会	副委員長	韓泰文
4	釜山広域市	チーム主務官	宋相旻
5	釜山文化財団	チーム長	朴承桓
6	釜山文化財団	チーム員	金汝昇

◆状況写真

<日本側展示会の様子>



(イベント会場のパリ日本文化会館前で)



(写真パネル展示準備作業の様子)



(写真パネル展示の様子)



(絵巻(レプリカ)を鑑賞するパリ市民)

<韓国側展示会オープニングレセプションの様子>



(朝鮮通信使人形の展示)



(会場内の様子(韓国語講座生も見学))



(展示会オープニング 張濟國代表の挨拶) (KBSからインタビューを受ける松原理事長)

<日韓共同 朝鮮通信使セミナー(パリ日本文化会館ホール)>



(セミナー司会を務める阿比留事務局長)



(松原理事長開会挨拶)



(倉地先生講演とホールの様子)



(木寺駐仏日本国大使が激励に来場)



(レセプションの様子)



(日本政府代表部左藤大使を囲んで)

<ユネスコ本部訪問>



(記憶遺産担当パネフスカ事務局長と対談) (対馬市長による国会議員推薦状の提出)

※非常に良いプログラムという高評価をいただく。既に一次審査は通過したとこのこと。
登録決定は諸手続きがあり時間がかかる・・・「セプテMBER」という単語が聞こえたが・・・



(最後にユネスコ訪問記念撮影)

3 朝鮮通信使の集い in 東京

◆日時:平成28年11月27日(日)13:00~14:30

◆場所:早稲田大学 401教室

◆内容:朝鮮通信使セミナー

○講演

講師:町田一仁先生(日本学術委員会副委員長 下関歴史博物館館長)

演題:「朝鮮通信使に関する記録」のユネスコ世界記録遺産登録について

○ユネスコ記憶遺産登録推進事業報告

報告者:縁地連事務局長 阿比留正臣

○受講者:約200名(定員160名)

◆状況写真



セミナー会場は、朝日新聞の事前広報記事の効果もあり、定員160人を遥かに超える約200名に参加頂きました。記憶遺産登録推進効果なのか、少しずつ通信使の輪が広がっている感じを強く受けることができました。

このあと、ミュージカル対馬物語が大隈講堂で公演され、作家のジェームス三木氏、江島潔参議院議員をはじめとする来賓出席のもと、約600名の来場があり、対馬物語の内容に涙していらっしゃいました。



(朝鮮通信使人形・写真パネル展示)



(ミュージカル「対馬物語」の公演)

◆◆ 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会への寄付者名簿 ◆◆

・ 朝鮮通信使対馬顕彰事業会（対馬市）	300,000円
・ 小川順子様（広島市個人会員）	50,000円
・ 「静岡に文化の風を」の会 代表 左藤俊子様	30,000円
・ 朝鮮通信使行列振興会（対馬市）	20,000円
・ 芳洲外交交流会福岡支部（福岡県）	10,000円
・ 相島歴史の会（福岡県新宮町）	10,000円
・ 新宮チェビの会（福岡県新宮町）	10,000円
・ NPO翔青会（北九州市）	10,000円

その他、多数の方に寄付金バッジを購入いただきました。寄付金バッジの収入が102,500円となりました。誠にありがとうございました。



(登録祈願の誠信バッジ)

◆最後に…



この写真は、ユネスコ本部の訪問が終了した後、平和の象徴「朝鮮通信使」が記憶遺産に登録されることを願って、たくさんの国の「平和」という文字で埋め尽くされた「平和の壁」での記念写真です。

登録されますように…。

朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流福山大会

～日東第一形勝の舞台からユネスコ記憶遺産へ～



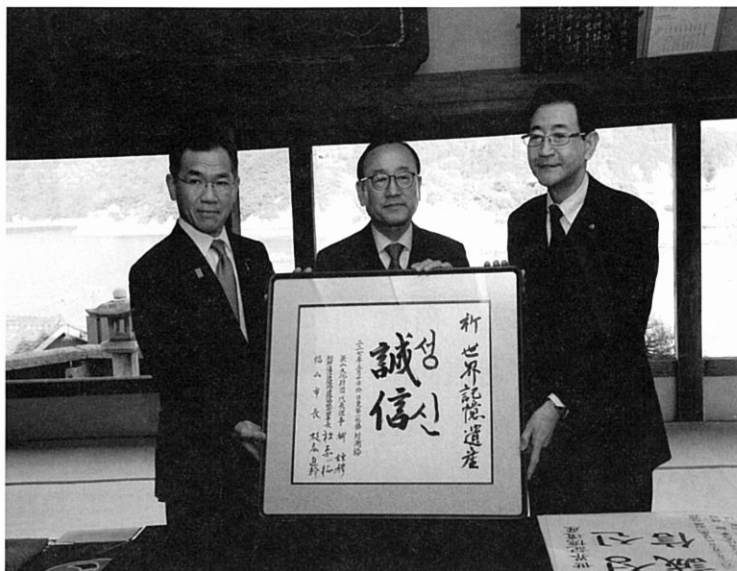
市制施行 100 周年記念事業として盛大に

2017年3月11日、12日の両日に、朝鮮通信使ゆかりの地である広島県福山市鞆の浦で、福山市市制施行100周年記念事業のひとつとして、福山市・鞆町内会連絡協議会などで組織した21世紀の朝鮮通信使・鞆実行委員会で「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流福山大会」を開催しました。ここ鞆の浦は、古来「潮待ちの港」として栄え、朝鮮通信使も瀬戸内海の潮に導かれ鞆の浦へ寄港しました。江戸時代、福山藩は、料理人や給仕人など約1,000人を動員し、通信使約500人分の食事を用意してもてなしました。また、船着場から福禅寺「対潮楼」(国史跡)までの道筋に毛氈、^{もうせん} 蓆^{むしろ}などを敷き、夜は提灯6,000張り、ろうそく40,000本で町を明るく照らし、「善隣友好」の思いを込めて大歓迎をしたと伝えられています。

福山市での全国交流大会の開催は、1997年以来、実に20年ぶりです。多くの加盟団体、会員の皆さまに御来場いただき、また、日韓文化交流イベントとして本市で毎年開催している「日韓トップ囲碁対局・鞆」も開催し、盛大な大会となりました。

前日の盛り上げ行事

大会前日には、日韓共同で登録申請しているユネスコ記憶遺産の推進と福山大会を盛り上げるため、「鞆ユネスコ記憶遺産推進行事」を朝鮮通信使遺跡として国史跡となっている福禅寺対潮楼の名舞台において、記憶遺産申請の日韓の両代表者である韓国の財団法人釜山文化財団の柳鍾穆代



表理事とNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会の松原一征理事長、福山市長枝廣直幹の3者が共同で記念書を制作しました。この様子はテレビ・新聞で大きく報道され、記憶遺産推進の大きな一助となったものと思っております。

21世紀の朝鮮通信使の出迎え

11日は、21世紀の朝鮮通信使の出迎えイベントから始まりました。朝鮮通信使船を模した正使船と2隻の福山藩船で朝鮮通信使船団をはじめて組み海上パレードを行い、鞆の浦に江戸時代から残る常夜燈前に、色鮮やかな衣装を纏った通信使約50人が上陸しました。船団を率いて上陸する姿は、まさに往時の朝鮮通信使を彷彿とさせ、江戸時代から残る鞆の歴史的町並みの中をパレードした通信使行列は、鞆ならではの歴史絵巻となり、多くの方々に楽しんでもらうことができました。



出迎えイベント後は、福山市鞆公民館で縁地連絡協議会の研究部会、理事会、総会を開催するとともに、福禅寺対潮楼では韓国側・徐奉洙九段と日本側・石田芳夫九段との日韓トップ囲碁対局を行いました。福禅寺は、その客殿が通信使により「対潮楼」と命名され、そこからの眺めを「日東第一形勝」と絶賛するなど、友好の足跡が数多く残されています。

総会終了を待つように、その会場から夜の交流会会場への途中で、サプライズとして「福の山音頭」を約100人の踊り手で、歓迎をしました。

交流会は鞆シーサイドホテルにて、縁地連絡協議会員や日韓トップ囲碁対局関係者の約160名で盛大に開催しました。参加者には、日東第一形勝の景色をバックに、福山ならではの料理と鞆の伝統芸能「アイヤ節」などを楽しんで頂きました。最後は、全員で「アリラン」の大合唱を行い、日韓の交流と絆を深めることができました。



交流会のオープニングは津市分部町の唐人踊り



鞆小学校児童による創作劇の様子



日韓トップ囲碁対局・鞆の様子

琴棋書画, 善隣友好の福山大会

翌12日は、全国交流福山大会を開催しました。三重県津市からお招きした「唐人踊り保存会」の皆さまにオープニングを盛大に飾ってもらい、その後、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会の仲尾宏委員長に御講演を頂きました。講演では、朝鮮通信使が残した歴史資料の希少性について触れられ、福禅寺が所蔵する6点の資料を含め、ユネスコ記憶遺産に登録することの重要性が伝わる内容でした。地元鞆小学校児童による創作劇「日東第一形勝物語」の発表では、朝鮮通信使が鞆を訪れたときの日韓の温



かな交流が演じられ、歌詞に「日東第一形勝」が使われた古い校歌を歌う場面もあり、子どもたちの一生懸命な演技に、時折、会場に笑みがあふれ、とても和やかな雰囲気になりました。また、福山市の親善友好都市である浦項市と琴の交流演奏会と書道パフォーマンスを行いました。日本の琴と韓国の伝統楽器であるカヤグムの共演により友好の音色が響く中、日韓の書家により「善隣友好」の書が揮毫^{きこう}され、交流の深まりを実感することができました。また、この書の冒頭には「祈 世界記憶遺産」と記し、記憶遺産登録への機運を盛り上げました。

大会中、十分なおもてなしができなかったこともあったかと思いますが、様々なイベントを通じて、日韓の温かな文化交流を行うことができました。

結びに、本大会を開催するにあたり縁地連事務局をはじめ御協力・御支援を頂いた関係者の皆さまに感謝申し上げますとともに、本大会に御参加頂きました皆さまが「21世紀の朝鮮通信使」として御活躍され、朝鮮通信使関係資料がユネスコ記憶遺産へ登録されることを心から祈願いたします。

(福山市教育委員会 文化財課)



書道パフォーマンスの書



交流夕食会の最後は「ふるさと」と「アリラン」の大合唱

10年目の朝鮮通信使友情ウォーク

江戸時代の朝鮮通信使が通った道、ソウルから東京までの道を忠実に再現するウォークを始めて今年の第6次で10年目の節目になります。10年ひと昔と言いますが、幟を掲げて歩く私たちを見る沿道の反応が、「朝鮮通信使ってなに？」から「朝鮮通信使？聞いたことあるな」へ、さらに最近では、「世界記憶遺産に登録する使節団かい」と認知度が上がって来たのを実感します。



第1次から長距離ウォークの愛好者を中心に構成されていた在日韓国人を含めた日本チームも、回を重ねるごとに「韓国大好き人間」や「朝鮮通信使研究者」等バラエティに富む陣容に変遷してきました。言葉の壁がだんだん低くなり、交流の密度が濃くなっているように思われます。年々、「高齢化」という悩みは抱えつつも（社会全体がそうだから仕方ないか）、確かな手応えを感じているというのが現状です。

さて、第6次ですが、日程もコースも前回と同じ。ただ、異なるのは一部の隊員の顔ぶれ。中核をなす「本隊員」（500キロ以上の参加隊員）が36人。このうち、初参加者は日本25人中9人、韓国11人中3人。日本隊の初参加者の中には、大学の学長経験者や韓国の歴史や文化を体感するために参加する女性フリーライターもいます。在日韓国人の金承南さん（大阪）は83歳。前回に次ぐ2度目のソウルー東京挑戦です。マラソンランナーでもあり、しなやかな体はとてもその年には見えず、最高齢の参加記録を更新すること間違いなしです。

「区間隊員」というカテゴリーは、1週間以上一緒に宿泊しながら歩く人たちで、日韓合わせて29人が参加します。本隊員と合わせて総勢65人が第6次を構成することになります。さらに、大阪から先は、当日参加の「デーリー隊」が加わり、交流の輪が一段と広がります。

9月にも登録の当確が決まる「朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録問題」。52日間の道すがら、友情ウォークの会として、どうこの問題に寄与できるか？みんなで議論しました。結論は全員で「広告塔」になること。幟はもちろん、ゼッケンに目立つようにスローガンを入れて歩きます。

第6次も全力投球です。ご支援よろしく申し上げます。

21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会 会長 遠藤靖夫

第6次 21世紀の朝鮮通信使 ソウル～東京 友情ウォーク 行程表

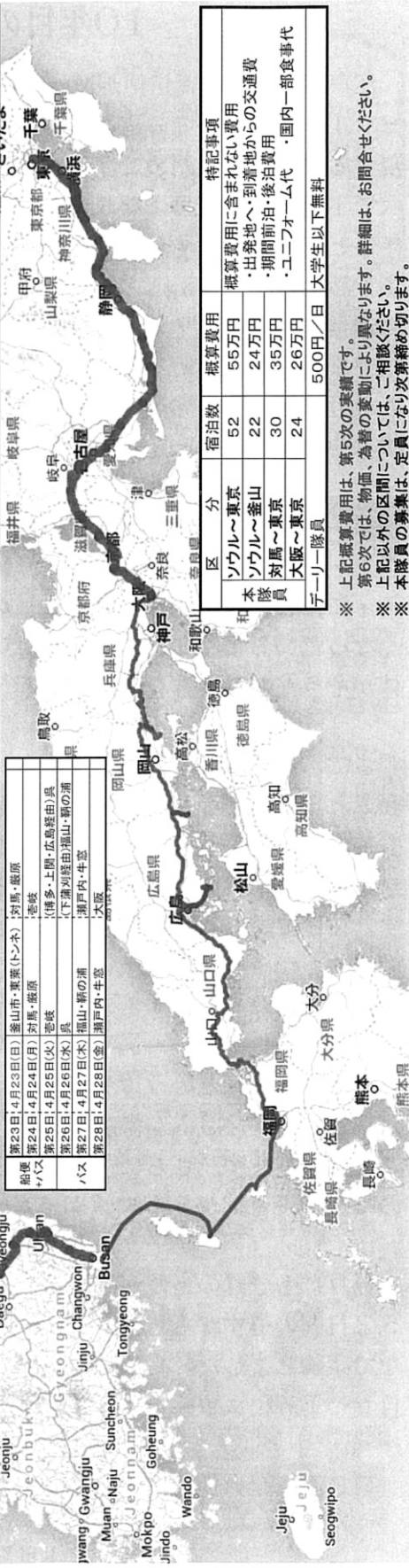
※ 行程は一部変更・変動する
可能性がありますので、ご了承
承ください。

韓国内歩行

第1日	4月1日(土)	ソウル・景福宮	楳南市月川峴	27
第2日	4月2日(日)	月川峴 (ウォルチルニョン)	楳仁	29
第3日	4月3日(月)	楳仁(ヨンイン)	安城市竹山	37
第4日	4月4日(火)	安城市竹山(チョクサン)	隆城郡龍池里	23
第5日	4月5日(水)	隆城郡龍池里(コンジ)	忠州	38
第6日	4月6日(木)	隆城郡龍池里(コンジ)	(忠州・歴史探訪日)	
第7日	4月7日(金)	忠州(チョクジュ)	泗水	24
第8日	4月8日(土)	水安峯(スアンポ)	聞慶	22
第9日	4月9日(日)	聞慶(マンギョク)	聞慶市・虎溪	26
第10日	4月10日(月)	聞慶市(虎溪(ホク)	聞慶	30
第11日	4月11日(火)	龍泉(イェチョン)	安東	34
第12日	4月12日(水)	(安東・歴史探訪日)		
第13日	4月13日(木)	安東(アンドン)	襄陽	33
第14日	4月14日(金)	襄陽(ウイン)	襄陽郡・鶴岡	26
第15日	4月15日(土)	襄陽郡・義興(ウイン)	永川	40
第16日	4月16日(日)	永川(ヨクチョン)	慶州	37
第17日	4月17日(月)	(慶州・歴史探訪日)		
第18日	4月18日(火)	慶州(キョングジュ)	慶州市・仇於(九魚)	21
第19日	4月19日(水)	慶州市・仇於(クオ)	蔚山	24
第20日	4月20日(木)	蔚山(ウルサン)	梁山市・熊上	29
第21日	4月21日(金)	梁山市・熊上(ウンサン)	梁山市・熊上	25
第22日	4月22日(土)	(梁山・休養日)		

日本国内歩行

第23日	4月23日(日)	大阪	大阪府役所	淀屋橋駅1分	時刻	到着	距離
第30日	4月30日(日)	枚方	大阪枚方市駅前中央口		8:00	枚方	17:00 28
第31日	5月1日(月)	京都	京都三条大橋川原	(京都・交流日)	8:00	京都	17:00 31
第32日	5月2日(火)	京都	京都三条大橋川原		8:30	津	17:30 27
第33日	5月3日(水)	津	東西線三条高陵駅、 京阪三条駅1分		8:00	近江八幡	17:00 23
第34日	5月4日(木)	近江八幡	近江八幡市役所		8:00	彦根市役所	17:00 27
第35日	5月5日(金)	彦根	彦根市役所 JR彦根駅北口10分		8:00	JR垂井駅	17:30 34
第36日	5月6日(土)	垂井	JR垂井駅北口		8:30	尾張一宮	18:30 37
第37日	5月7日(日)	尾張一宮	JR尾張一宮駅西口		8:00	鳴海	17:30 37
第38日	5月8日(月)	鳴海	(名古屋・交流日)				
第39日	5月9日(火)	鳴海	名鉄鳴海駅		8:00	岡崎	17:30 29
第40日	5月10日(水)	岡崎	名鉄岡崎駅北口		8:00	豊橋	17:30 33
第41日	5月11日(木)	豊橋	JR豊橋駅東口	ツッキ	8:00	JR井田島駅	17:00 26
第42日	5月12日(金)	井田島	JR井田島駅		8:00	天竜川	17:00 25
第43日	5月13日(土)	天竜川	JR天竜川駅北口		8:00	JR掛川駅	18:00 25
第44日	5月14日(日)	掛川	JR掛川駅北口		8:00	藤枝	17:30 31
第45日	5月15日(月)	藤枝	藤枝・ホトケ富岡屋 JR藤枝駅北口バス8分上塩馬		8:00	静岡・清水	18:00 36
第46日	5月16日(火)	静岡	(静岡・交流日)				
第47日	5月17日(水)	静岡・清水	JR清水駅西口		8:00	富士・吉原	17:30 32
第48日	5月18日(木)	富士・吉原	JR吉原駅南口前公園		8:30	三島	17:30 31
第49日	5月19日(金)	三島	三島・坂公民館		8:00	小田原	17:30 31
第50日	5月20日(土)	小田原	JR三島駅バス版小学校前		8:30	藤沢	18:30 37
第51日	5月21日(日)	藤沢	JR小田原駅東口 2階ツッキ		8:00	川崎	17:30 33
第52日	5月22日(月)	川崎	JR藤沢駅北口		8:00	東京・皇居・皇居・日比谷公園(ゴール)	15:00 20



特記事項

ソウル～東京	52	概算費用に含まれない費用
ソウル～釜山	22	・出発地へ・到着地からの交通費
対馬～東京	30	・期間前泊・後泊費用
大阪～東京	24	・ユニフォーム代
ツアー1隊員	24	・国内一部食事代
デューリー1隊員	500円/日	大学生以下無料

※ 上記概算費用は、第5次の実績です。
第6次では、物価、為替の変動により異なります。詳細は、お問合せください。
※ 上記以外の区間については、ご相談ください。
※ 本隊員の募集は、定員になり次第締め切ります。

参加者一覧

(区間隊は掲載していません)

<日本隊本隊員>

ソウル→東京

氏名	出身県	生まれ
金 承南	大阪	1933
針生 平太郎	千葉	1941
遠藤 靖夫	埼玉	1942
金井 三喜雄	埼玉	1944
柳田 秀雄	千葉	1944
山崎 薫 (初)	千葉	1944
増田 孝 (初)	福岡	1945
小林 克一 (初)	千葉	1945
奥谷 浩一 (初)	北海道	1946
高橋 幹雄	静岡	1950
小林 幸子 (初)	東京	1942
嶋 文子	東京	1943
森 紀子	東京	1946
李 性任	千葉	1964
真弓 智恵子 (初)	福岡	1965

ソウル→博多

延与 恭子	三重	1948
高橋 美智子 (初)	東京	1950

ソウル→釜山

阿部 寛	埼玉	1943
稲垣 ヌキ	北海道	1944
李 恵美子	大阪	1950
金 升子 (初)	栃木	1945

対馬→東京

河 在龍 (初)	東京	1955
----------	----	------

大阪→東京

千台 治男	東京	1947
高橋 郁恵	静岡	1952
牛尾 恵子	埼玉	1949

<韓国隊参加者>

ソウル→東京

氏名	生まれ
宣 相圭	1947
姜 鎬甲	1952
李 允喜	1958
張 禎允	1962

ソウル→釜山

柳 炳熙 ◎	1950
洪 美玉	1959

ソウル→聞慶

崔 孝 (王京) ◎	1950
------------	------

氷川→釜山

朴 京淑 ◎	1960
--------	------

釜山→東京

韓 棟基	1937
崔 英禹	1938
高 亮文	1945
朴 海龍	1955
李 石泉	1941

釜山→京都

裴 俊泰	1946
韓 永哲	1946
李 聖南	1956
金 彦基	1956

釜山→大阪

姜 基洪	1953
------	------

清水→東京

呉 愛仙	1957
姜 澄子	1941

◎は日本エリア参加も有りの方

双方向の異文化理解を目指して

－高校生との交流を支える－

滋賀県長浜市 雨森芳洲庵・芳洲会

1. 百聞は一見にしかず

自らの国や文化を理解することは簡単ではない。そして外国の事情や文化を知ることはさらに難しい。現代では、テレビや映画、IT技術の進歩普及により、様々な情報が比較的容易に手に入る。

しかしながら、いろんな本を読んだり、授業を受けたりしていても、「その国」を知るのは難しい。また、日本といっても、北は北海道から南は九州、沖縄まで気候も違えば食べ物も異なる。言語や生活習慣も多様である。旅行などで知り合いになる際も、相手の年齢で生活経験や社会経験の違いなどから日本人であっても価値観も異なることも多い。

講演会のように講師が自分のペースで話をするのをじーっと聞いて、自らの経験に照らし合わせて講演の内容を理解するのもよいが、現地を訪れ直接自分の目や耳、舌で味わうことが貴重であろう。

2. 同年代と接する

雨森芳洲庵は、そうした韓国からの高校生や大学生を受け入れてきた。4月には修学旅行で200名近くの高校生が雨森を訪問した。

平井茂彦館長の説明を聞いた後、近くの高校生徒と交流することになる。



昨年あたりから釜山を中心に、高校生や大学生の訪問者も増えてきている。12月の高校生の訪問時には、地元の伊香高校のブラスバンド部や長浜北星高校の箏曲部、米原高校のESSのメンバーが日本の「さくら」などの曲を演奏したり、英語を通して趣味や学校生活について話し合ったりゲームをしたりして交流をしている。

一方、韓国からは文化交流ということで、太鼓や伝統楽器を持参し演奏する高校生もいれば、テコンドーの技を実演する高校生もいる。

3. 音楽や演劇、趣味の分野で理解を進める

芳洲庵や雨森地区への訪問者の中には、驚くほど流暢に日本語を話す高校生がいる。どのようにして日本語を学んだのかを尋ねると、アニメで覚えたとか答

える子もいる。アニメを見ているだけで、日本語が覚えられるのか本当に不思議である。ともあれ、日本の学校や音楽等に詳しい生徒も多く、日本においてもテレビの韓流番組が一般化した現在は、相互理解の一步目が踏みだしやすい状況にあると言えよう。

4. 家庭を訪問する

若い人にとって短い時間であっても、よそのお家を訪問して食事を共にする機会は貴重である。ホストファミリーは献立に頭を悩ます。3, 4人から多い場合は10名ほどを受け入れるので、メニューづくりも一苦労である。



こうした受け入れをしていただくのは芳洲会の会員のお宅である。すき焼きや焼き肉といったご馳走を用意するのもいいが、経費もかかる。「カレーライスやお好み焼きなどの、普段の料理を用意しています。」という家庭が多い。特に、カレーライスは毎回好評である。

逆に受け入れる方も学ぶことは多い。お爺さんやお婆さんがおいでになる家庭では、夕食の際にお爺さんやお婆さんが食べ始めないと高校生達は食事に手をつけようとはしない。なるほど、韓国は儒教の国なのだと改めて感じ入る次第である。

5. 2017年8月に高校生会議が開催されます

高校と大学の先生方の研究会が呼びかけられて、日本の各地から高校生が長浜市にやって来る。事前調査や現地調査を基にした調査研究発表会が持たれる予定である。できれば、韓国からも参加があるときらによい。芳洲にゆかりのある地域として、この夏が楽しみである。



海峡に育まれた歴史と文化のまち下関

源平壇ノ浦の合戦、巖流島の決闘、幕末維新、日清講和条約など、日本の歴史が大きく動く時、その舞台となった下関。

本州最先端に位置し、古くから大陸や朝鮮半島との陸上・海上交通の要衝の地として、国際交流促進の一翼を担ってきました。

特に、隣接する韓国・釜山広域市とは、1976年10月11日に姉妹都市の盟約を締結し、平成28年に40周年を迎えました。去る8月20日に開催した朝鮮通信使行列再現事業では、正使役に釜山広域市の徐秉洙（ソ・ビョンス）市長をお迎えし、下関市民98名、釜山広域市民108名、総勢206名、晴れ渡る空と関門海峡を背景に、壮大な歴史絵巻を再現しました。

行列のフィナーレを飾る親書交換式では、中尾友昭下関市長と徐秉洙釜山広域市長とで親書を取り交わし、今後の両市の更なる友好関係を誓い合いました。

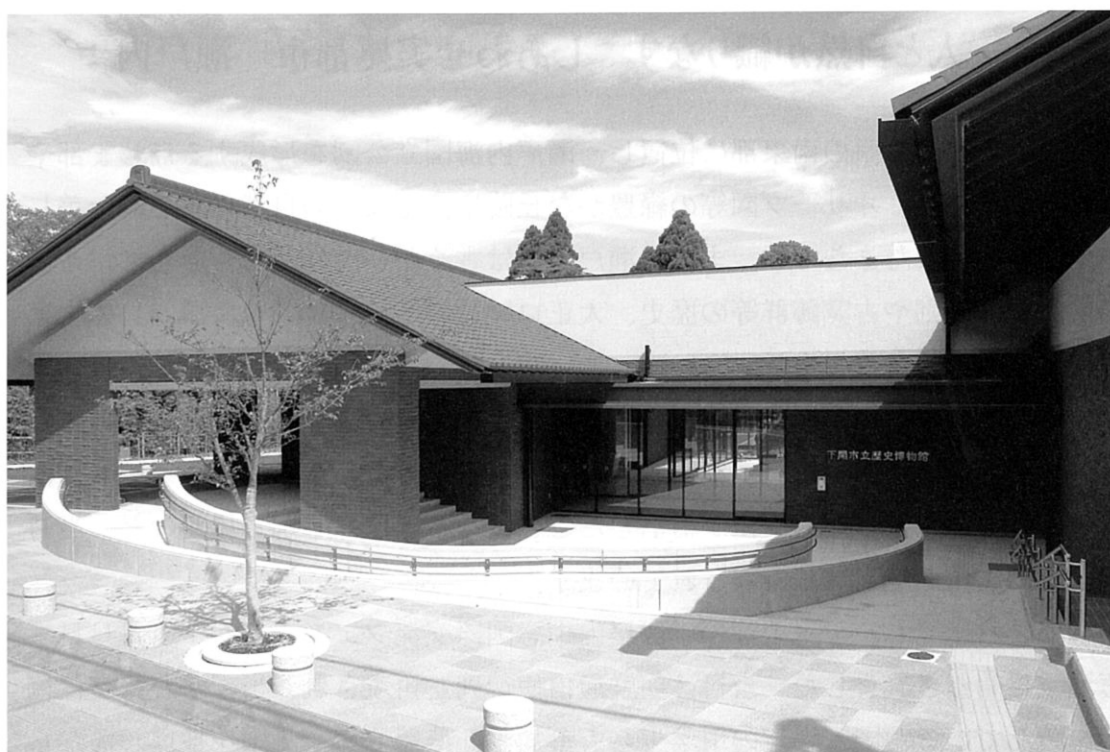


〔海峡ゆめ広場での親書交換式〕

また、平成28年11月18日に、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録申請資料4件9点を含む、20点を超える朝鮮通信使資料を所蔵する「下関市立歴史博物館」が長府地区に開館しました。

長府地区は、幕末維新発祥の地であり、高杉晋作の維新回天の挙兵の舞台となった国宝「功山寺」をはじめ、練塀が続く古江小路など長府毛利藩の城下町の風情を醸し出し、訪れた人々のそぞろ歩きを誘います。





〔下関市立歴史博物館〕

観覧料：（常設展示）一般200円、大学生等100円
（企画展示）一般100円、大学生等 50円
※団体（20人以上）2割引

休館日：月曜日、年末年始

住 所：下関市長府川端二丁目2番27号

電 話：083-241-1080

史跡巡りで往時に思いを馳せた後は、ぜひ下関の名物グルメ「瓦そば」をご賞味ください。熱した瓦にのせられた茶そばは、パリッとした食感をまとい、香りも格別です。牛肉・錦糸卵・ねぎ・海苔・レモン・もみじおろしを添え、熱々のつゆでいただきます。



〔名物瓦そば〕

下関へおいでませ！

人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内

瀬戸内市は岡山県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られたまちです。また、瀬戸内市は古くから開けたまちとして栄え、備前長船の刀剣や古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家「竹久夢二」の生家等の文化資源があります。

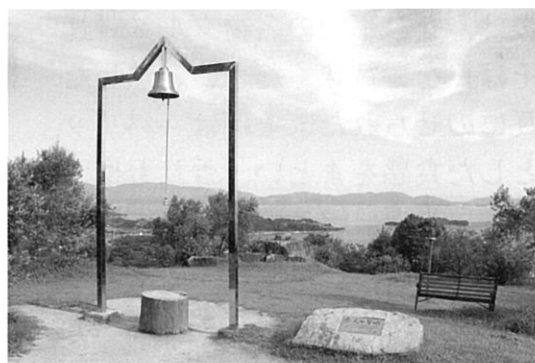
その中でも、市南西部に位置する牛窓地域は「美しの窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄えました。特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、通信使が宿泊したことのある本蓮寺や御茶屋跡など、当時の歴史的文化遺産も数多く残されています。

平成28年度も、市民主催の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」が11月6日牛窓地域で開催されました。当日は朝鮮通信使行列が再現され、当市が友好交流協定を結んでいる韓国密陽市の中学生らも参加し、楽器演奏や舞踊を披露しながら本蓮寺までの約2キロを、日韓両国の約200人が華やかな衣装で練り歩きました。本蓮寺では正使役の朱哲完駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也瀬戸内市長が「国書」の交換儀式を行い、両国の善隣友好を祈念しました。また、ユネスコ記憶遺産登録に向け、牛窓地域一帯には登録推進をPRするのぼり旗も数多く掲げられました。市内小学生や密陽市中学生などが韓国の伝統芸能を披露するステージもあり、両国の友好交流を深める一日となりました。

平成29年「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」は、11月5日（日）開催を予定しています。自然美、感性美、伝統美、瀬戸内の美が溢れる瀬戸内市へ皆様のお越しをお待ちしております。



瀬戸内牛窓国際交流フェスタ
国書交換



牛窓オリーブ園

相島歴史の会(福岡県新宮町)

相島歴史の会 事務局 今村公亮



(相島歴史の会のメンバーと松原理事長)

1. 相島とは？

福岡市の隣町、新宮町の沖合約7.5キロに浮かぶ小さな島、相島が今脚光を浴びている。一つは「ネコの島」として、もう一つは「朝鮮通信使の島」としてである。「ネコの多い島」として米CNNやNHKの「ダーウィンが来る！」に取り上げられたおかげで、シンガポールや香港など東南アジア、遠くは欧州と、国内外からネコ好きが来島して賑わっている。

一方、通信使が江戸時代に11回来た島であることは、歴史マニアには知られていたが、ユネスコの世界の記憶遺産（世界の記憶）登録の動きで注目されるようになった。

この島は、古来より万葉集や続古今和歌集などにも詠われた歴史ある島で、島内には西日本最大級の積石塚群（国指定史跡）や蒙古供養塔、太閤秀吉ゆかりの潮井の石、異国船監視の遠見番所跡、通信使関連史跡で最近町の文化財となった波止場、井戸、近年蘇った溺死61名の供養塔、また通信使関連の遺物を保有する神宮寺などがある。

2. 相島歴史の会とは？

今年で、誕生早や7年目。朝鮮通信使と古代の墓である積石塚群（西日本一）を主に調査・研究し、島案内などをメンバー13名でこなしている。

2010年11月の朝鮮通信使縁池連全国交流17回新宮大会の前に、島になにか通信使の遺物が残っていないものかと、島の北西部の百合越浜の石碑に着目した。この百合越浜の石碑は、流れ人や蒙古人の墓ではと島人に伝わり、新宮町誌にもそのように掲載されていた。この拓本を採ったことで、享保度の

通信使迎護準備中の福岡藩士・領民61名が溺死した供養碑であることが、その碑文から判明した。また当時の多くの古文書から裏付けられた。

この拓本採りがこの会の始まりであった。この拓本が切っ掛けで、享保度の通信使を迎護準備中の1719年7月24日大風破船で61名が溺死し、それを供養した碑（合葬舟人墓）だと判明した。

その後、島で発表するや、神宮寺から遺物が、藩主から賜った溺死者61名の合同位牌、「心行三昧」の扁額、また供養料を賜ったことが分かった。その後の調査で建立を次の通信使を迎える延享5年3月と推定、藩主からの賜り物、大庄屋の古文書、関わった人物等からも同時期とみている。

当時の記録は日本側に8つ、朝鮮側に1つと確認できたが、建立や藩主が諸品を賜った時の記録はまだ見つからない。その出現を今後に期待している。

この合同位牌を毎年8月16日の夜、流れ灌頂で他と一緒に永年供養してきたことが分かったことは驚きであった。当時の通信使に携わった島人の想いが鮮やかに蘇った。その後『相島歴史年表』を作成し県立・市・町立図書館等に寄贈、また『島の散策マップ』も作り、島案内時に活用頂いている。また2014年秋には嶋村初吉氏の通信使関係書籍約500冊の寄贈を受け、島の神宮寺に「嶋村文庫」として開設した。

2015年春には釜山財団の李理事長、姜南周ユネスコ世界の記憶技術委員長に来島頂き、島の活性化について意見交換したのは貴重な経験であった。

2015年秋には「朝鮮通信使と日韓交流の島」で嶋村初吉氏と西谷正先生によるダブル講演を実施、187名の来島で大盛況であった。

このような活動で、通信使を島の人々に伝え、11回この島で饗応した史実と、その誇りを共有していきたい。領民の支えがなければ、福岡藩はこの通信使の饗応の成功は有りえなかったといえる。

溺死61名の内、判明した墓は25基と町の史料にあるが、本格調査はされていない。また客館跡地の調査も全体の極一部（約80坪）しか調査されていない。

今年の夏頃のユネスコの世界の記憶遺産登録で弾みをつけ、行政主導で多くの調査課題のクリアを望みたい。近い将来、相島に通信使の資料館、客館跡地に客館の一部を再現できたらと、みんなで大きな夢を見ている。

3. 2016年度の行事でのトピックス

① 福岡県地方史研究協議会第50回

「福岡と朝鮮通信使」～地方史の窓から世界が見える～

「相島通信使関連史跡調査の近年の成果」 相島歴史の会発表

～享保4年7月24日大風破船・61名溺死事故を中心に～

② 百合越浜の供養塔の説明板設置・・・2016年5月24日日韓言語の説明板設置（文章・写真3）

- ③ 朝鮮通信使顕彰碑建立(右写真)
(2016年7月2日にお披露日式)
碑文「朝鮮通信使乃島 誠信交隣」
揮毫者は松原一征理事長、
建立者は中澤慶輝氏(当会顧問)



建立後に「誠信交隣」の
日韓言語の説明板設置。

4. 2017年度の主行事(予定)

- ①4/15(土)相島 第3回
古代史セミナー、相島フェスタと共催
講師：西谷正先生(海の道-むなかた館長)
演題：「相島・積石塚から平安瓦まで」～歴史ロマンは陸から海へ～
コーディネーター：中村俊介氏(朝日新聞社文化部編集員)
- ②9/9(土)相島 朝鮮通信使ユネスコ世界の記憶登録 記念講演
講師：嶋村初吉氏(元西日本新聞社・朝鮮通信使研究家)
演題：「朝鮮通信使ユネスコ世界の記憶登録の意義と今後の在り方」(仮題)

5. 2018年度

7/22(日)享保4年7月24日大風破船61名溺死の300年法要祭。
行政と共に関係者含め、日韓合同でのイベント(供養)を計画中。

<百合越浜の供養塔の説明板内容>

蘇える石碑

相島の百合越浜の石碑の拓本を2010年10月に採ったところ、享保四年(1719)七月二十四日の大嵐で42隻が沈み61人が溺死し、それを祀った石碑「合葬舟人墓」と新たに分かった。碑文に「韓使来聘」の文字が明確に読みとれる。石碑建立者は浦人であるが、福岡藩主(黒田公)からも供養料を賜ったと神宮寺の資料にある。また藩主より賜っていた神宮寺の「合同位牌」や「扁額」が、拓本にて61人の溺死者の関連も判明した。

この「合同位牌」を毎年八月十六日の流れ灌頂(施餓鬼供養)で、他の事故者と併せ供養されている。このように朝鮮通信使迎護中の溺死61人に対して、福岡藩・浦人共に永年供養をしてきたことがわかった。当時の人の供養した尊い気持ちが現代に蘇えった。

2016年5月15日 相島歴史の会

2017 朝鮮通信使祭りのご案内

- 行事名: 2017朝鮮通信使祭り
- 期 間: 5月5日(金)～7日(日)
- 場 所: 韓国釜山市 龍頭山公園、
光復路一円、釜山市役所
- 日 程 (案)



行事名	日時	場所	備考
龍頭山公演広場行事	5.5(金)～ 5.7(日) 10:00～18:00	龍頭山公園広場 及び光復路一円	
朝鮮通信使国際学術 シンポジウム	5.5(金) 13:00～18:00	釜山市役所 国際会議室	
朝鮮通信使の夕べ	5.5(金) 18:00～20:00	龍頭山公園 特設舞台	
街頭公演	5.6(土) 13:30～14:30	光復路一円	
2017朝鮮通信使行列	5.6(土) 14:30～17:00	龍頭山公園 ～光復路入り口	
交流の夕べ(晚餐)	5.6(土) 19:00～21:30	コモドホテル宴会室	
朝鮮通信使ユネスコ 記憶遺産韓日共同登録 祈願関連行事	5.6(土) 18:00～20:00	龍頭山公園 特設舞台	
筆談唱和	5.7(日) 10:00～16:00	龍頭山公園 特設舞台	

※現在、計画中であり、今後の変更の可能性はあります。

編 集 後 記

NPO縁地連 事務局長 阿比留 正臣

大変お世話になっております。この機関誌が皆さんの手元に届くころには、遠藤会長を先頭に21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会一行がソウルを出発し、元気に釜山へ向かっているころだと思います。

さて、今年は、ユネスコ記憶遺産登録申請に取り組んだ3年間の最後の年でした。私の中の今年最大のイベントは、何と行ってもパリイベントです。最初は、パリでイベントをするなど、想像もしていませんでした。ところが、一昨年夏、「対馬厳原港まつり」の歓迎晩餐会の折り、記憶遺産登録のことで大いに盛り上がり、パリに行くぞ！ということになったのです。パリでのテロ事件があったばかりで心配もありましたが、行くと決めたからには中途半端なことはできません。しかしお金もありませんでした…。そして、本文にありますとおり(株)LD様との出会いもあって実施できたのです。

フライトの12時間をどう過ごすかを心配していましたが、機内の映画がおもしろく、「君の名は」など往復で6本の映画を観ました。感動的な映画ばかりで、横に瀬戸内市長がいたのですが、ずっと涙をこぼしながら観ていました(笑)

また、ちょうどパリイベントのときにボジョレーヌーボーの解禁日を迎えました。若々しいワインの味を解禁日に…それもパリで飲めるとは…(おいしくて釜山文化財団のメンバーと毎日2本空けました(笑)。) 天気は曇り続きでしたが、いろいろと運がよいパリイベントでした。

話しは変わりますが、福山大会の総会で提案したユース部会の立ち上げについてです。縁地連の構成員は年々高齢化が進んでいます。次世代の後継者を育成することも今後の重要な取り組みです。この部会を平成30年には設立したいと思っています。現在、日韓学生交流を実施している早稲田大学、九州大学、広島大学等を中心にインカレでサークルを立ち上げ、いろいろなイベントを企画したいと思っています。その中心になるべき人も想定し、少しずつ育成もしているところです。



韓国側の朴承桓事務局長と

また、ユネスコ記憶遺産に登録できた後の「ユネスコ連絡部会」の設立も・
・新しくステップアップした縁地連の姿が見えてきそうです。

・・・という風に考えていましたが、
対馬市の人事異動があり、4月から担当を外れることになりました。事業は
後任が引き継ぎます。縁地連の事務局長として5年間、皆様のご支援ご指導
によりNPO法人に移行でき、ユネスコ記憶遺産の事業にも携われました。誠
にありがとうございました。縁地連の今後益々のご発展をお祈りいたしてお
ります。皆様お元気で！



(瀬戸内市の片山課長とパリ日本文化会館の展示会場で)



(登録決定で凱旋したいものです。)

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(自治体・団体)

(2016年3月総会時現在)

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	対馬市	文化交流・自然共生課	長崎県対馬市厳原町国分1441
2	自治体	日光市教育委員会	文化財課	栃木県日光市今市本町1
3	自治体	静岡市役所 生活文化局	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
4	自治体	大垣市役所	経済部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
5	自治体	長浜市	高月観音の里歴史民俗資料館	滋賀県長浜市高月町渡岸寺160
6	自治体	近江八幡市役所 総合政策部	まちづくり支援課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
7	自治体	彦根市役所 企画振興部	企画課	滋賀県彦根市元町4-2
8	自治体	京都市役所	国際化推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
9	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
10	自治体	瀬戸内市役所	秘書広報課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
11	自治体	福山市教育委員会	文化財課	広島県福山市東桜町3-5
12	自治体	呉市 文化スポーツ部	文化振興課	広島県呉市中央4丁目1番6号
13	自治体	上関町教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
14	自治体	下関市役所	市民文化課	山口県下関市南部町1-1
15	自治体	彦岐市教育委員会	文化財課	長崎県彦岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
16	自治体	白山市	文化振興課	石川県白山市殿町39
17	自治体	名古屋市教育委員会	文化財保護室	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
18	自治体	たつの市	社会教育課	兵庫県たつの市龍野町富永1005-1
19	自治体	台東区役所 世界遺産登録推進室	世界遺産登録担当	東京都台東区東上野4-5-6
20	団体	青丘人権文化の会	会長 宗和達功	大阪府門真市南野口町23-3
21	団体	公益財団法人 高麗美術館	代表理事 呉連順	京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
22	団体	かみのせき郷土史学習にんじゃ隊	井上敬二	山口県熊毛郡上関町室津549
23	団体	津市分部町唐人踊保存会		三重県津市東丸之内19-6
24	団体	唐子踊保存会	会長 吉川 悟	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4952-6
25	団体	芳洲会	会長 北村又郎	滋賀県長浜市高月町雨森1166
26	団体	朝鮮通信使行列振興会	会長 稲田 充	長崎県対馬市厳原町国分1441
27	団体	朝鮮通信使対馬顕彰事業会	会長 小島武博	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
28	団体	「静岡に文化の風を」の会	代表 佐藤俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
29	団体	唐辛子の会		静岡県伊東市池614-16
30	団体	東京対馬会	会長 歌野 宏	東京都大田区大森中2-6-6
31	団体	九州の中の朝鮮文化を考える会	嶋村初吉	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252
32	団体	日韓交流・新宮チエビの会	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
33	団体	日本コリア協会・大阪	理事長 飯田光徳	大阪府大阪市北区錦町2-2
34	団体	日本コリア協会・福岡	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
35	団体	呉史談会	事務局長 高木克	広島県呉市西中央1-6-15-201
36	団体	一般社団法人対馬観光物産協会	会長 江口 栄	長崎県対馬市厳原町今屋敷672-1
37	団体	公益財団法人蘭島文化振興財団	理事長 渡辺理一郎	広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
38	団体	NPO辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール	姜鶴子	東京都港区元麻布2-3-34
39	団体	かみのせき史談会	松村宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
40	団体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
41	団体	対州海運株式会社	代表取締役 松原一征	長崎県対馬市厳原町久田道1661
42	団体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	会長 遠藤靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4
43	団体	株式会社 コミュニティメディア	代表取締役 米田利己	長崎市出島町1番43号
44	団体	在日本大韓国民団京都府地方本部	団長 河相泰	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
45	団体	鞆の浦朝鮮通信使研究会	戸田和吉	広島県福山市今津町893
46	団体	川越唐人揃いパレード実行委員会	代表 江藤善章	埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
47	団体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣相圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
48	団体	釜山薬木會	会長 朴洪圭	大韓民国釜山広域市東區草梁上路92

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
49	団体	朝鮮通信使関係地域史研究部会	会長 仲尾 宏	山口県熊毛郡上関町室津549-7
50	団体	相島歴史の会	会長代行 中澤慶輝	福岡県春日市千歳町3-30-51
51	団体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田民雄	広島市中区小網町2-1
52	団体	NPO法人 日中韓から世界へ	代表 牛尾恵子	埼玉県狭山市水野646-6
53	団体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呉公太	東京都港区南麻布1-7-32
54	団体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F
55	団体	静岡商工会議所	会頭 酒井公夫	静岡県静岡市葵区黒金町20-8
56	団体	NPO法人 A Y U ドリーム	理事長 雨宮令子	静岡県静岡市清水区興津中町60-2
57	団体	在日本大韓国民団山口県本部	団長 韓賢澤	山口県下関市東大和町2-13-10
58	団体	在日本大韓国民団福岡県本部	団長 李相鎬	福岡県福岡市博多区博多駅前1-18-17
59	団体	NPO法人フレンド・アジア・ロード	理事長 貫井正之	愛知県名古屋市中千種区池上町3-10-1
60	団体	日韓トンネル推進京都府民会議	前田逸郎	京都府京都市下京区大宮通松原下ル上五条町389
61	団体	一般社団法人新宮町おもてなし協会	代表理事 堀田晴夫	福岡県糟屋郡新宮町下府2-6-8
62	団体	東京日韓親善協会連合会	会長 保坂三蔵	東京都台東区池之端2-5-36
63	団体	在日本大韓国民団大阪府地方本部	団長 鄭鉉権	大阪府大阪市北区中崎2-4-2
64	団体	在日本大韓国民団東京地方本部	団長 金秀吉	東京都港区南麻布1-7-32-5F
65	団体	在日本大韓国民団愛知県地方本部	団長 朴茂安	愛知県名古屋市中村区亀島1-6-2
66	団体	在日本大韓国民団神奈川県地方本部	団長 金利中	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
67	団体	神奈川県日韓親善協会連合会	会長 斎藤文夫	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
68	団体	在日本大韓国民団埼玉県地方本部	団長 田嶋 剛	埼玉県さいたま市浦和区常盤4-16-7
69	団体	在日本大韓国民団滋賀県地方本部	団長 朴鍾文	滋賀県大津市島の関9-5
70	団体	在日本大韓国民団岩手県地方本部	団長 申百澈	岩手県盛岡市本宮4丁目3-8
71	団体	在日本大韓国民団長崎県地方本部	団長 姜成春	長崎県長崎市榊島町6-15
72	団体	在日本大韓国民団宮城県地方本部	団長 金政郁	宮城県仙台市青葉区本町1-5-34
73	団体	在日本大韓国民団群馬県地方本部	団長 朴旋用	群馬県前橋市古市町497-5
74	団体	在日本大韓国民団高知県地方本部	団長 鄭慶文	高知県高知市北本町3-10-48
75	団体	在日本大韓国民団佐賀県地方本部	団長 鄭清俊	佐賀県佐賀市神野東1-5-9
76	団体	在日本大韓国民団静岡県地方本部	団長 姜再慶	静岡県静岡市葵区弥勒2-5-22
77	団体	在日本大韓国民団岡山県地方本部	団長 宋燦錫	岡山県岡山市北区駅前町1-5-21
78	団体	在日本大韓国民団富山県地方本部	団長 金 仁	富山県富山市牛島新町4-3
79	団体	在日本大韓国民団広島県地方本部	団長 李英俊	広島県広島市東区東蟹屋町7-9
80	団体	在日本大韓国民団石川県地方本部	団長 金沂秀	石川県金沢市広岡2-6-26
81	団体	日韓親善協会中央会	会長 河村建夫	東京都千代田区平河町2-7-1
82	団体	朝鮮通信使川御座船を考える会	代表 藤井 薫	大阪府豊中市千里園1-10-4
83	団体	千葉県日本・韓国・朝鮮関係史研究会	会長 吉井 哲	東京都練馬区旭町1-16-24
84	団体	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会	代表 広畑周子	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2806
85	団体	在日本大韓国民団茨城県地方本部	団長 張仙鶴	茨城県水戸市青柳町344-2
86	団体	朝鮮通信使日光ロード	代表 玉井久美子	埼玉県春日部市赤沼1366-1

(個人)

No	種別	会 員 名	氏 名
1	個人	地域史研究部会	安田 和幸
2	個人	地域史研究部会	井上 敬二
3	個人	地域史研究部会	井上 美登里
4	個人	地域史研究部会	永留 史彦
5	個人	地域史研究部会	奥村 隆幸
6	個人	地域史研究部会	岡部 良一
7	個人	地域史研究部会	加堂 貞幸
8	個人	地域史研究部会	丸尾 とし子
9	個人	地域史研究部会	岩川 龍一

No	種別	会 員 名	氏 名
10	個人	地域史研究部会	玉貴 信也
11	個人	地域史研究部会	原嶋 理恵子
12	個人	地域史研究部会	戸田 和吉
13	個人	地域史研究部会	高正 晴子
14	個人	地域史研究部会	佐々木 悦也
15	個人	地域史研究部会	佐々木 正行
16	個人	地域史研究部会	佐川 昭
17	個人	地域史研究部会	佐畠 儀子
18	個人	地域史研究部会	山口 久範

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名
19	個人	地域史研究部会	山田 雄彦
20	個人	地域史研究部会	市山 等
21	個人	地域史研究部会	紙上 勝美
22	個人	地域史研究部会	柴村 敬次郎
23	個人	地域史研究部会	小泉 和夫
24	個人	地域史研究部会	小田 章恵
25	個人	地域史研究部会	小椋 勉
26	個人	地域史研究部会	庄野 伸十郎
27	個人	地域史研究部会	松岡 睦彦
28	個人	地域史研究部会	松本 正子
29	個人	地域史研究部会	上月 香澄
30	個人	地域史研究部会	上西 法子
31	個人	地域史研究部会	上村 順造
32	個人	地域史研究部会	信原 修
33	個人	地域史研究部会	新本 直登
34	個人	地域史研究部会	仁位 孝雄
35	個人	地域史研究部会	杉田 功
36	個人	地域史研究部会	西谷 隆行
37	個人	地域史研究部会	千葉 俊樹
38	個人	地域史研究部会	浅野 慎太郎
39	個人	地域史研究部会	村田 景昭
40	個人	地域史研究部会	村田 ミチ工
41	個人	地域史研究部会	多賀 俊介
42	個人	地域史研究部会	中尾 清
43	個人	地域史研究部会	中澤 慶輝
44	個人	地域史研究部会	仲尾 宏
45	個人	地域史研究部会	町田 一仁
46	個人	地域史研究部会	長岡 武司
47	個人	地域史研究部会	蔦村 和雄
48	個人	地域史研究部会	坪井 裕一郎
49	個人	地域史研究部会	坪井 智美
50	個人	地域史研究部会	田中 解子
51	個人	地域史研究部会	島 祐二郎
52	個人	地域史研究部会	藤本 弘子
53	個人	地域史研究部会	梅本 明則
54	個人	地域史研究部会	八木 静恵
55	個人	地域史研究部会	夫 学 柱
56	個人	地域史研究部会	武内 禎子
57	個人	地域史研究部会	福永 知佐子
58	個人	地域史研究部会	福田 浩一
59	個人	地域史研究部会	片山 真理子
60	個人	地域史研究部会	芳村 笙子
61	個人	地域史研究部会	北村 久代
62	個人	地域史研究部会	北村 欽哉
63	個人	地域史研究部会	堀 ちず子
64	個人	地域史研究部会	蓑田 俊輔
65	個人	地域史研究部会	柳原 一興
66	個人	地域史研究部会	鈴木 真弓

No	種別	会 員 名	氏 名
67	個人	地域史研究部会	和田 佐喜男
68	個人	地域史研究部会	尹 芝 恵
69	個人	地域史研究部会	尹 大 辰
70	個人	地域史研究部会	廬 桂 順
71	個人	地域史研究部会	齋藤 健司
72	個人	地域史研究部会	箕 真理子
73	個人	地域史研究部会	裴 順 姫
74	個人	地域史研究部会	千田 龍彦
75	個人	地域史研究部会	吉田 智史
76	個人	地域史研究部会	原田 令嗣
77	個人	地域史研究部会	高田 好浩
78	個人	地域史研究部会	山梨 涉
79	個人	地域史研究部会	盛月 寿美
80	個人	地域史研究部会	前林 孝一良
81	個人	地域史研究部会	早川 育子
82	個人	地域史研究部会	村上 和弘
83	個人	地域史研究部会	大賀 正行
84	個人	地域史研究部会	渡辺 泰子
85	個人	地域史研究部会	萩原 昭一
86	個人	地域史研究部会	鈴木 宏久
87	個人	個人会員	蓮池 章平
88	個人	個人会員	茶谷 十六
89	個人	個人会員	宮岸 美苗
90	個人	個人会員	中村 洋一郎
91	個人	個人会員	松井 三郎
92	個人	個人会員	魏 聖 銓
93	個人	個人会員	小川 順子
94	個人	個人会員	永富 青地
95	個人	個人会員	梁 永 宣
96	個人	個人会員	陳 捷
97	個人	個人会員	森 英一
98	個人	個人会員	山元 香
99	個人	個人会員	桜井 信寿
100	個人	個人会員	玉井 久美子
101	個人	個人会員	佐川 嘉奈子
102	個人	個人会員	水田 敏郎

誠信交隣 2 1
縁地連だより No.20

発行日 2017年(平成29年)3月31日
 発行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
 〒817-0022
 長崎県対馬市厳原町国分1441番地
 TEL 0920-53-6111
 FAX 0920-53-6112
 HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>
 印刷 (資)厳原印刷所



2017年3月 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会福山大会